



全国モンブラン大会 ²⁰²³ とは、

日本全国で栗の生産量が減少していく中、国内の栗産地と連携を深め、和栗文化を継承していくとともに、地域の活性化を図るための第一歩として、本大会を開催いたします。

本大会では国内各産地から自慢のモンブランが集結し、今年の人気 No.1 を決定します。

この機会に、より多くの方に和栗ならではの良さをぜひ知っていただきたく存じます。

Mont Blanc Cake Contest 2023
among the major chestnut producing regions
in JAPAN.

お
OBUSE
NAGANO

か
KASAMA
IBARAKI

え
ENA
GIFU

き
KYOTAMBA
KYOTO

や
YAMAGA
KUMAMOTO

し
SHIMANTO
KOCHI

お 29 30 1 小布施町

OBUSE / NAGANO

長野県で一番面積の小さな小布施町。千曲川にそそぐ松川の扇状地は、酸性土壌のため良質な栗の栽培に適しており江戸時代には幕府へ献上されるほどに味の良さに定評を得ていました。

明治後期創業の小布施堂では、今まさに栗あん仕込みの真っ最中。昔も今も栗と砂糖のみ、保存料、着色料を一切使いません。風味豊かな栗あんは和洋問わず季節に合わせた栗菓子となり、お楽しみいただけます。

え 29 30 1 恵那市

ENA / GIFU

岐阜県の恵那地方は、良質な栗の産地として知られていましたが、流通の変化や生産者の減少などによる課題がありました。その中、「東美濃栗振興協議会超特選栗部会」を結成して恵那山麓の地元栽培農家に、土づくりから管理し、「超低樹高栽培」に代表される栽培条件、出荷条件をクリアできた栗だけを「超特選恵那栗」として使用しています。

岐阜



き 29 30 1 京丹波町

KYOTAMBA / KYOTO

京都府京丹波町は京都府の中央部に位置し、丹波くり、黒大豆をはじめ、京都府随一の酪農地帯でもある食の宝庫です。

「丹波くり」は極上の甘さと大きさを誇る京丹波町の秋の味覚の代表格です。その中でも糖度が増した「丹波くり」だけを贅沢に使用したモンブランは丹波くりの濃厚な風味が味わえる逸品です。

数量限定ですのでこの機会にぜひご賞味ください。

し 29 30 1 四万十町

SHIMANTO / KOCHI

高知県四万十の清流「四万十川」中流域で育つ、希少なブランド栗「しまんと地栗」を使ったモンブランを製造販売しています。スポンジ生地や洋酒は使わず、甘さ控えめの栗ペーストをたっぷり絞ったモンブランは「栗」が主役の濃厚さ。

1ミリの極細で絞ったとろける食感の「ぶるみに」で、四万十の新栗もぜひお召上がり下さい。

高知



や 29 30 1 山鹿市

YAMAGA / KUMAMOTO

熊本県の最北端に位置する山鹿市。山林が総面積の約5割を超え、温泉や芝居小屋、古墳群等、歴史ある自然豊かな地域で山鹿和栗は育っています。

明治時代から歴史が残る栗栽培は、寒暖の差、肥沃な大地、800名の栗農家の思いが一つになり、西日本一の生産量を誇る産地として、皆さんにおいしい「山鹿和栗」を届けています。

か 29 30 1 笠間市

KASAMA / IBARAKI

栽培面積および栽培経営体数ともに全国一位の栗産地。年間を通して穏やかで昼夜の温度差がある気候と、通気性・保水性に優れた火山灰土壌が、ふっくらとした薫り高い栗を育みます。秋になると街全体が栗一色となり、市内の菓子店・飲食店ではモンブランをはじめ多くの栗商品が提供され、「笠間の栗」を求めて笠間市を訪れるお客様で溢れています。

茨城



※ 各産地ブースの出店については、茶色の日付が出店日を表示しています。

29 30 1 例) 9月30日のみ出店

第17回 かさま新栗まつり

2023.9.29 - 10.01 9:00 - 15:00 ※雨天決行

笠間芸術の森公園 イベント広場

PR
初の三日間開催 & 同時開催



「全国モンブラン大会 2023」および「第17回 かさま新栗まつり」については、下記までお問い合わせください。

儲かる笠間の栗産地づくり協議会（事務局：笠間市役所 農政課） ☎ 0296-77-1101（内線 527）



最新情報は
笠間の栗 HP から(9月8日公開予定)
<https://www.city.kasama.lg.jp/kasamanokuri/>